

感染症等の影響を踏まえた「学びの保障」への対応

基本方針

感染症対策を実施するとともに、子供たちの学びを最大限に保障します。

感染症対策

「学校の新しい生活様式」を踏まえた学校運営の徹底

- ◆ 基本的な感染症対策として、感染源を絶つこと、感染経路を絶つこと、抵抗力を高めることに取り組みます。
- ◆ 登校の際は、各家庭において体温を測定して健康状態を確認し、マスク・ハンカチを携帯するように依頼します。
- ◆ 学校では、窓やドアを開ける等、こまめに換気を行います。また、児童生徒に対して手洗いの徹底を指導するとともに、消毒液を使用して、学校施設や物品等の消毒を毎日行います。
- ◆ 集団感染を防ぐために、3密（密閉、密集、密接）を避け、可能な限りの身体的距離を確保するとともに、適切なマスクの着用に努めます。

保健指導の充実

- ◆ 飛沫感染や接触感染の仕組みについて児童生徒に理解させ、手指で目、鼻、口をできるだけ触らないように指導するとともに、感染を避ける方法として、手洗いやマスクの使い方、清掃や消毒等の指導を徹底します。
- ◆ 感染症を他の人に感染させないために、「咳エチケット」として、咳・くしゃみをする際、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえるように指導します。
- ◆ 免疫力を高め、ウイルスへの抵抗力を高めるために、「十分な睡眠」、「適度な運動」及び「バランスの取れた食事」の重要性を指導します。

学びの保障

タブレット端末を活用した家庭学習

- ◆ 学校の臨時休業期間中にも、子供たちの学びを止めないことが必要です。そのために、整備された児童生徒一人1台のタブレット端末等を活用した家庭学習のための環境整備を進めます。

I C Tを活用した教育活動の推進

- ◆ 学校において日常的にI C Tを活用した学習活動を行うことは、学校の臨時休業期間中に、I C Tを活用した家庭学習をスムーズに実施することにもつながります。そのため、「高知市立学校I C T活用推進協議会」からの情報提供や、教員のスキルアップと事例提供を目的とした新たな研修や講座等を開催するとともに、将来的には、各学校においてI C Tの活用をテーマとした校内研究やI C T活用を推進するためのチームを立ち上げるなど、各学校が主体的に進めていくための体制づくりが進むように教育委員会が支援を行います。

学習習慣確立の推進（自立した学習者の育成）

- ◆ 学校の臨時休業期間中に、児童生徒が家庭で自立的に学習するためには、自学自習の習慣が身に付いていることが大切です。日常的に児童生徒が自学自習を進めることができるように、自ら選択して取り組める家庭学習の教材を提供し、学校における学習習慣確立のための取組を支援します。

臨時休業期間中における学力保障のための支援の充実

- ◆ 児童生徒の家庭での学習支援動画を作成し、高知市教育委員会のホームページに掲載する等、家庭学習充実のための支援に努めます。
- ◆ 児童生徒の家庭学習のための教材や、教員の教材研究を支援するための指導案や教材等を学校に提供します。

精神的な健康・安全の保障

感染症等に関する人権教育の充実

- ◆ 学校において、感染者等に対する偏見や差別が生じないようにするために、感染症に関する適切な知識を基に、発達段階に応じた指導を行います。
- ◆ 教育委員会では、感染を理由とした偏見や差別などの人権侵害を防ぐために、人権教育の学習教材を収集・作成し、学校に提供します。

心のケア等の実施

- ◆ 長期間にわたり感染症とともに生きていく社会が想定される中では、児童生徒が強いストレスや不安を抱えることが予想されます。学級担任や養護教諭等を中心としたきめ細かな健康観察等により、児童生徒の状況を的確に把握するとともに、スクールカウンセラー、学校カウンセラー、スクールソーシャルワーカーが相談対応（学校での面談、電話相談、家庭訪問）による支援を行います。また、ストレスや感染症への不安を抱えた児童生徒を支援するための教材や指導案、リーフレット等を作成し、学校に提供します。